



自分が得意なものを十八番 というのはなぜ

歌舞伎からきたことば

その人がもっとも得意とする芸や物事を、十八番 といいます。これは、歌舞伎からきたことばです。

歌舞伎とは、江戸時代に発展した日本独特の演劇です。劇ばかりでなく、おどり・音楽も取り入れています。歌舞伎は、日本の代表的な古典芸能の一つです。

この歌舞伎を代々演じつづけている役者の家柄に、市川家がありますが、この市川家が得意とする十八種の出し物を、「歌舞伎十八番」といいます。この「歌舞伎十八番」から、最も得意なものという意味で、「十八番」ということばができ、いっぱんの人々にも使われるようになったのです。

「十八番」を「おはこ」ともいう

「十八番」と書いて「おはこ」とも読みます。

市川家のお家芸（得意な芸）である「歌舞伎十八番」は、箱に入れて、大事にしまっておくという意味から、十八番を「おはこ」ともいうようになったのです。（監修・田代 脩）

